

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 15 日

事業所名 縁 館林

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	学習スペース、訓練スペースをパーティション等で区切っている。	密になることがあるが、移転先は広がるので改善される。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	常時4~7名(保育士、児童指導員)を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3		移転先はスロープ等バリアフリーの配慮がなされる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	事業所内研修、会議等で振り返りをしている。	明確な目標を設定し、全職員で共有していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		評価を真摯に受け止め、改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	ホームページで公開している。	ホームページに掲載されていることを保護者にお便り等で周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		今後、検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	専門職会議、太田ステージ勉強会等、事業所内研修を定期的に行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	児童発達管理責任者を中心に、計画の検討を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	発達検査の結果を送っていたき児童理解に役立っている。	今後、太田ステージ等アセスメントツールを支援に活用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	フロアリーダーを中心に立案、検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	児童の実態に合わせ、柔軟に変更するなど対応している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	グループ分けをし、それぞれの児童が楽しめるように各課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	昼礼を行ない、支援内容、役割分担など共通理解をはかっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	支援記録に記入。次の日の昼礼時に気づいた点を職員で共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	観点別の支援記録を一人の利用者様に対して複数の職員が記録している。	今後の支援により生かせる方法を検討したい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年に一度、保護者面談を行い、計画の見直しをしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	1	個別活動、集団活動をバランスよく組み合わせさせて支援を行っている。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者が参加している。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 15 日

事業所名 縁 館林

関係機関 や保護者 との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	学校から月、週の予定表をいただき、送迎を組んでいる。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	該当児なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	適宜、情報を共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	該当児なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	他施設での様子、対応の仕方など情報共有させていただいている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	児童館では障害のない子ども達と一緒に遊び、交流できることがある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	毎回参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時、保護者にその日の様子をなるべく詳しく伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	5		今後、保護者に対して情報提供等を行っていききたい。
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	送迎時や面談において保護者からの相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		今後、会の発足を検討していききたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	苦情受付窓口と責任者を設置。苦情を受けた際は、迅速に情報収集、丁寧に説明し、解決をはかっている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月、縁だよりを発行し、連絡事項や活動の様子を保護者に伝えている。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	鍵のついた書庫、ロックのかかったパソコンに保管している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		分かりやすい説明を心掛けていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		地域住民と共に行える活動を検討していききたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	各種マニュアルを施設内に掲示している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 15 日

事業所名 縁 館林

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		避難訓練の頻度を増やしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		事業所内研修を行っているが、今後さらに充分させたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	車いすを使用する際は、保護者に了承を得ている。その上で計画書に記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	職員で保護者からの情報を共有。おやつでは、該当児用の札を用意し、常に注意を払えるようにしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	ヒヤリハットファイルに記載し、共有している。	